

▶「ペコロスの母に会いに行く」のポスター



「ペコロスの母に会いに行く」が風の賞を受賞

第13回天草映画祭・風の賞

漫画家の岡野雄一さん（長崎県）が自身と認知症の母との体験を描いた漫画を映画化した「ペコロスの母に会いに行く」（森崎東監督、岩松了、赤木春恵主演。平成25年製作）が3月21日、第13回天草映画祭・風の賞を受賞しました。賞は、地元の映画愛好家らでつくる選考委員会で毎回決定されているもので、岡野さんの母親の出身地が天草であり、高齢化社会を明るく前向きに紹介している点が高く評価されました。なお、本渡第一映劇（栄町）でこの映画は4月18日㊟まで上映されています。上映時間や入場料などの詳細は、同所☎1417へ。

天草の食が一堂に集結

天草食の祭典2014

2月15・16日、「天草食の祭典2014」が本渡港特設会場と本渡青果市場で開かれ、約1万人が来場しました。本渡青果市場では、地元の新鮮な野菜や果物、オリーブオイルを使ったイノシン肉ステーキなども販売され、来場者は天草の食を堪能。本渡港特設会場では、海鮮パーベキューや市内外のちゃんぽんの販売が行われたほか、魚の競り売りも実施。目当ての魚を手に入れるために大勢の人が詰めかけるなど、大いににぎわいました。



▲大勢の人が詰めかけた魚の競り売り



▲ヤブツバキをスケッチする参加者

一足早い春を満喫

あったか天草椿まつり

「第23回あったか天草椿まつり」が3月2日、天草町大江の西平椿公園で開かれ、約1,000人が来場しました。同まつり実行委員会が、同公園に群生しているヤブツバキを地域おこしにつなげようと毎年行っているもの。会場では、歌謡ショーや椿油しぼりの実演、もち投げなどを実施。また、椿スケッチ大会も行われ、参加した子どもは「赤くて、きれいな花びらをうまく描くことができました。また来年も描きに来たいです」と話していました。

地域ぐるみで災害対策

大多尾地区総合避難訓練

2月16日、新和町の大多尾地区で「総合避難訓練」が実施され、地区住民210人が参加しました。同地区振興会と行政区単位で組織する自主防災会が、地域ぐるみで災害に立ち向かおうと、消防団の協力を得て初めて開催したもの。訓練は、大雨と台風の接近により土砂災害警戒情報が発表されたとの想定で実施。市指定避難所の大多尾地区コミュニティセンターへの避難や現地避難対策本部の設置、炊き出しなどの訓練が行われ、参加者は熱心に取り組んでいました。



▲設置された現地避難対策本部のようす



▲笑顔で歩く参加者たち

栖本路を楽しく歩いて健康に

健康づくりハイキング

3月8日、高齢者を対象にした「健康づくりハイキング」が栖本町で開催され、地元住民96人が参加しました。市社会福祉協議会・栖本支所が、高齢者どうしの親ぶくを深めることを目的に毎年実施しているもの。この日は晴天に恵まれ、栖本福祉会館をスタート・ゴールとする約5kmの道のりを、参加者は和気あいあいと笑顔で歩いていました。

剣士たちが熱戦を展開

河浦町建国記念の日剣道大会

2月11日、「第48回河浦町建国記念の日剣道大会」が河浦中央体育館で行われ、市内外の小・中学生41チーム・205人が参加しました。河浦町剣友会がこの日に、青少年の健全育成のために毎年開催しているもの。選手たちは、小学校低学年・高学年の部、中学校の部に分かれて5人1組の団体戦で熱戦を展開。勝負が決まった瞬間は観客から大きな歓声上がるなど、盛り上がりを見せていました。



▲熱戦を展開する選手たち

戸締まり用心、火の用心！

幼年消防クラブ防火パレード

倉岳保育園と苓陽幼稚園の幼年消防クラブの園児58人と地元の消防団員などが3月3日、倉岳大えびす像公園一帯で「防火パレード」を行いました。春の火災予防運動にあわせて実施されたもの。はっぴに身を包んだ園児たちは、拍子木を打ち鳴らしながら、「戸締まり用心、火の用心」と大きなかけ声で地区住民に防火を呼びかけていました。



▲拍子木を打ち鳴らしながら歩く園児たち